

本気で実行!

高知県産業振興計画

みんなが主役 高知の元気発進プロジェクト

わしだけじゃない。
みんなが主役だよ。
力を合わせて
発進じゃ!



坂本龍馬

とにかく
売れんと
いかんぜよ!



岩崎弥太郎

高知の海・山・川
お日さまは
格別じゃき!



中岡慎太郎

おいしい食と、
熱い人たち。
土佐の高知に
惚れました。



お龍

海外にも
目を向けろうぜや!



ジョン万次郎

土佐・龍馬
であい博
キャラクター

高知県庁ホームページ「政策トピックス」産業振興計画シリーズ

高知県庁政策トピックス

検索

クリック!

高知県産業振興計画ホームページ

高知県産業振興計画とは

検索

クリック!

PR版

産業振興ことはじめ

この計画は、高知県の経済を根本から元気にするためのトータルプランです。県民が一丸となって同じ方向に力を合わせて進む旗印となるよう、生産から流通・販売までを見とおし、産業どうしのつながりを考えてつくりました。

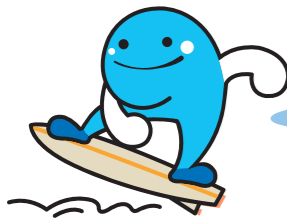
産業振興計画の5つの特徴

- 1 産業ごとの縦割りの計画ではなく、実体経済に合わせて産業間の連携を重視したトータルプラン
- 2 生産面だけでなく、加工、流通、販売も合わせて支援（雇用・所得の確保に結び付ける） 1,500人以上
- 3 策定段階から多くの民間の方々から参画。地域のやる気を結集
- 4 変化の激しい経済の動きに対応できるように、また新たなアイデアを盛り込めるように、毎年度改定
- 5 計画の実行に向けて、予算措置や支援体制を充実、強化

産業振興計画は、これまでの県の計画とはこんな点で違っています。



1 高知県の経済



高知県の経済ってどうなっているの？

一人当たり県民所得（平成18年度）
全国平均の約7割 217万円

全国や世界で活躍しているキラリと光る企業もあるけど、一人当たり県民所得など主な指標は最下位クラス。

人口がどんどん減っているし、高齢化も進んでいる。何より若者の多くが県外へ出て行ってしまつので、今何とかしないと将来もずっと元気がないままになってしまうかもしれないよ。

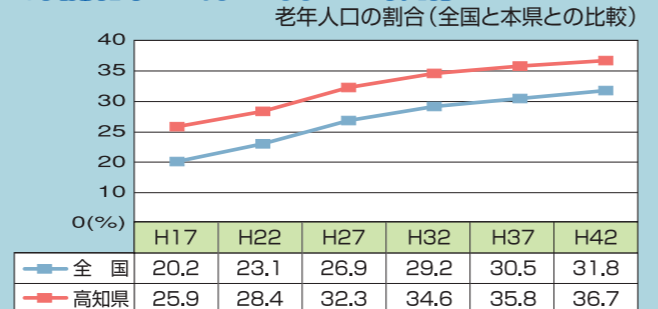


●人口が全国に15年先行して自然減

人口自然増減数(人)	高知県	全国
S60	2,462	679,294
H2	-386	401,280
H7	-1,022	264,925
H16	-2,500	82,119
H17	-3,203	-21,266
H18	-2,912	8,224

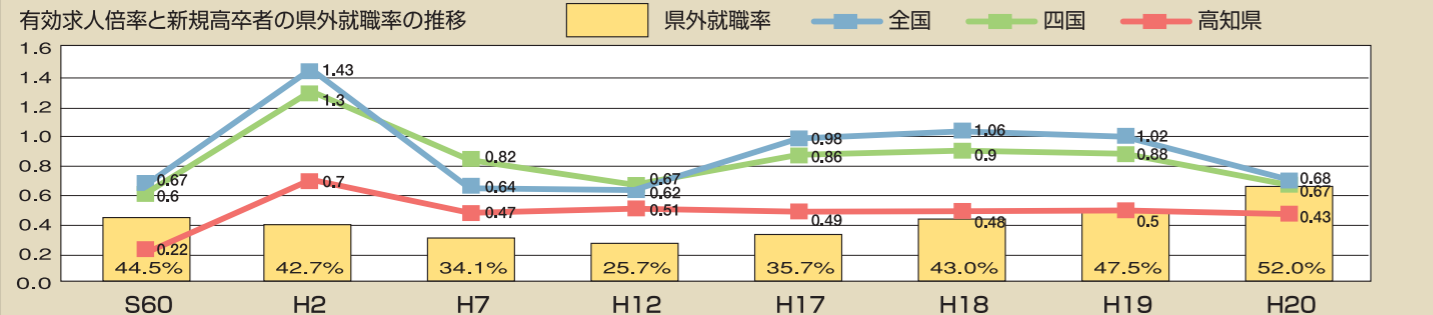
出典：人口動態調査（厚生労働省）
人口移動調査（高知県）

●高齢化率の上昇も全国に10年先行



出典：日本の都道府県別将来推計人口（H19.5）
（国立社会保障・人口問題研究所）

●景気回復の波に乗れず、若者も流出



出典：高知労働局資料※有効求人倍率は年度平均、H20はH21.1月データ

2 高知を元気に



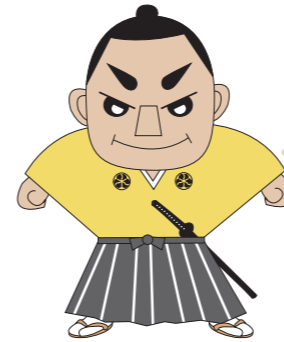
それは困った。高知はすごくいいところなのに…。どうすれば、高知をもっと元気にできるの？

高知の底力はこんなもんじゃない!!

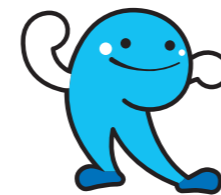
食べるものや地域の資源など、全国に誇れるものはたくさんある。もっともっとやれるはず。



たしかに高知には食、自然と歴史、人という強みがある。これを生かそうぜ。



地産地消と地産外商



そうか。その高知の強みを生かしていけばいいんだね。じゃあどんな方法があるかな。



だけど、人口が減っているから、県内で売るだけでは今より豊かにならないんじゃないの？



そのとおり！高知を元気にしていくには、地元で売るだけでなく、県外に売り出す※「地産外商」も重要。そのためには売れるものづくりが大事じゃ。

※7ページ参照

高知の強み

1 食

高知は「食べ物のおいしいところ」全国トップクラス

※大手旅行情報誌の宿泊旅行アンケート調査
「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」都道府県
平成19年 全国第1位(高知県)
平成20年 全国第2位(高知県)

2 自然と歴史

坂本龍馬、四万十川、四国八十八ヶ所 など

※年間日照時間 2,034時間
平成18年 全国第1位(高知県)《気象庁年報》
県土の森林面積の割合 83.3%
平成17年 全国第1位(高知県)《農林業センサス》

3 人

よさこい祭りに代表される人々の活気 おもてなしの心

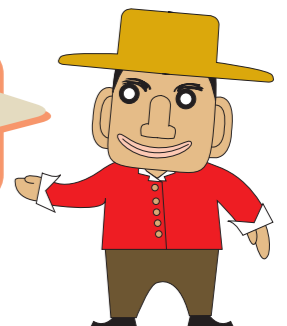
※大手旅行情報誌の宿泊旅行アンケート調査
「地元の人々のホスピタリティを感じた」都道府県
平成20年 全国第4位(高知県)
世界的シェアを誇るキラリと光る技術 など



まず、地域が元気になるように地域で作ったものを地域で使う「地産地消」が大事だよ。



県外だけじゃない。「海外」にも目を向けよう!!

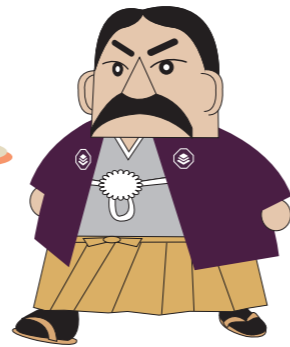


産業間の連携（食品加工）



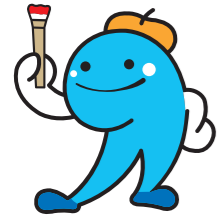
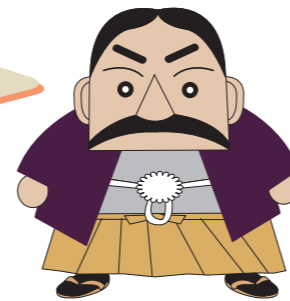
売れるものづくり
っていうけど、そのた
めには何が重要な
の？

品質の良さはもちろんだけど、買う
人が欲しいと思うような魅力的なもの
にしていく必要がある。
都市部には全国から商品が集まる
から、それに勝てるようにしないと。
デザインなどにも工夫がいる。



高知の野菜や魚は
新鮮でとってもおい
しいから大丈夫だね。

確かに高知には良いものがたくさんあ
るけど、遠くに運ぶとなると鮮度や費用
の問題も出てくる。
都市部では近くで生産された新鮮なも
のが多く出回っているんだ。
だから、素材そのものを磨く工夫も大
事だけど、加工して日持ちが良く、より価
値の高い商品にしていくことにも取り組
んだらどうだろう。



なるほど、商品の
魅力と価値を高める
工夫があるんだね。

そのとおり！そのためには、
産業どうしのつながり（連携）
が重要になってくるんだよ。
例えば野菜や魚を加工して、
より価値を高めていくことも
そうした取り組みの1つだ。



高知県は、他の県に比べ
てこれまでこうした分野の
取り組みが弱かったけど、
産業間で連携して全力で
取り組んでいこう。

産業間の連携（観光）



連携が大事なのは、ものづくりだけじゃないよ、観光もだよ！観光は
様々な業種がかかわって成り立っている。
観光客に地元のもの食べてもらう、地元の素材を使ったお土産
を買ってもらうといったふうに、関連した業種がどんどんつながって
いけば、県内で経済効果が広がっていくよ。

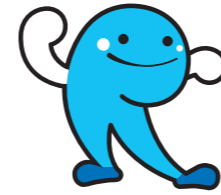
そのとおり！
高知の海・山・川・お日さまは格別。
食べ物のおいしさは、全国トップク
ラス！
来年は「龍馬伝」というチャンスも
ある。観光客にたくさん来てもらっ
て、みんなで高知の魅力をどんどん
売り込んでいこう。



産業間で連携し
あうことで大きな
効果が生まれてく
るんだね。



担い手の確保



連携して大きな効果を生
むためには一つひとつの産
業もしっかりしていないと
いけないんじゃないの？

そうなんだ。
高知は第一次産業に強みがある
けど、担い手がどんどん減って強み
が強みじゃなくなってしまう危機が
迫っているんだ。



それは大変！
早く手を打
たないと。



そのために、高知県で働きたいという人
たちや県外の若者に、農林水産業の技術
を教えているんだ。
住むところや田畑の情報も提供して、働き
やすい環境を整えているよ。



それなら良かった。
担い手がたくさん
育ってくれるといい
ね。



そうなんだ。
他にもやるべきことはたくさんある。
高知の課題に正面から取り組んで、
高知の強みを生かして高知を元気にする方策を
みんなでまとめたのが、この計画だよ。

高知県経済の3つの課題

- 1 人口の減少により縮小を続ける県内市場頼り
- 2 産業間の連携が弱い
- 3 第一次産業の強みが強みでなくなりつつある



改革の基本方向

- 1 足下を固め、活力ある県外市場へ打って出る
- 2 産業間連携の強化
- 3 足腰を強め、新分野へ挑戦

3 計画の構成

ところで計画はどんな内容からできているのかなあ

1,500人を超える方々の参加によってできました。

計画はこんなふうになっています。

農業・林業・水産業・商工業・観光などの成長戦略と、221の取り組みを盛り込んだ地域アクションプランからできているんだよ。

高知県産業振興計画

- 総論**
- ◆本県の強みや弱みを整理(SWOT分析)
 - ◆強みを生かす観点からの3つの改革の方向

311施策
くわしくは
13・14ページへ

産業成長戦略

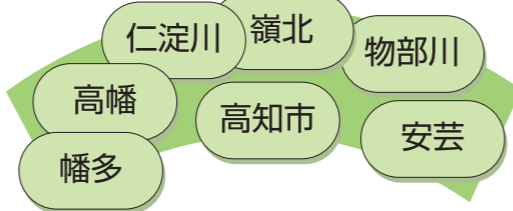
- ◆5つの産業分野及びこれらをつなぐ連携テーマ
- ◆これからの対策をいつ、どのような形で実施するのか明確化

農業 林業 水産業 商工業 観光

分野を越えた連携

地域アクションプラン

- ◆7地域ごとに産業成長戦略に沿って地域が目指す産業の姿やそこで進める具体的な取り組み
- ◆地域からの発案で提案された取り組みと産業成長戦略を地域で具現化する取り組み



221事業
くわしくは
15・16ページへ

具体化

戦略化

地域の取り組みが221事業もあるの!? 地域で広がるといいね。

そうなんだ。でもこれだけじゃないよ。みんなのアイデアをどんどん取り入れてもっともっと広げていくよ。

こうしたプランの取り組みが大きく広がって、地域の基幹産業に育ってほしいのう。

具体的な支援策

- 1 アドバイザーの派遣
- 2 技術開発の支援
- 3 設備投資の支援
- 4 売り込みの応援等

この計画の方向に沿って、産業振興に取り組めば、高知県の経済は元気になるぜよ!!

そのために、支援する体制も予算も用意したし、必要ならもっと充実していくよ。

平成21年度産業振興計画関連予算(当初) 85億円 (総合補助金 10億円など)
産業振興推進本部を設置して、計画の実行を総合的に支援。各地域に地域産業振興監を配置

4 県民運動へ

そうか!良かった。じゃ、がんばってね。

ちょっと待った!!

ここからが大事なところ。もちろん県庁もがんばる。だけど、この計画を成功させて、高知県の経済を元気にするためには、生産者・企業・地域団体・市町村をはじめ、県民みんなで取り組むことが肝心なんだよ。

※農協・森林組合・漁協など

それじゃあ、僕にも何かできることがあるの?

いろんな形で、産業の振興に参加できるよ。たとえば…。

- お料理の腕をふるって地元の物を使ったおいしいメニューを開発!
- 夏休みには友達や親戚を高知に呼んでくる
- 高知のいい物を見つけたらメールで友達に情報発信!
- 家を建てる時には県産の木を使う
- 買い物の時には県産のものを選ぶ
- 地域の観光イベントに参加!
- 県外の人に高知のおいしいもの、素敵なものを贈る
- 他にもたくさんあるよ!
- 観光案内のボランティアをして観光客をおもてなし

そうか、無理をしなくても普段の行動や心がけ一つで参加ができるんだね。

みんなで力を合わせて、高知県を元気に盛り上げていきましょう!
それでは、3つの課題や解決のための方向性など、計画の詳しい内容については次のページからご紹介します。
さらにご関心のある方は、まず、お近くの地域本部(裏表紙参照)にご相談ください。

高知県経済が抱える 3つの課題に正面から取り組む

課題1

人口の減少により縮小を続ける県内市場頼り

■人口の減少と高齢化によって県内の購買力は小さくなっています。活力のある県外、海外にモノを売って所得の向上を図っていかねばなりません、その取り組みが十分ではありません。

基本方向

足下を固め、活力ある県外市場に打って出る

まずは、地産地消を徹底して県内産業の力をつけ、さらに、県外・海外に向けて地産外商を強力に推進していきます。

*地産外商・・・地域の様々な資源を県外に売り出してお金(外貨)を稼ぐこと

目指す方向

① 地産地消の徹底

- ◆地元で作ったものを地元で消費することで、生産地の力を強めます。
- ◆ものづくりをできるだけ県内事業者どうしで行います。例えば、加工など付加価値を生み出す工程を県内で行うことで、県内産業の力を強めます。(ものづくりの地産地消)

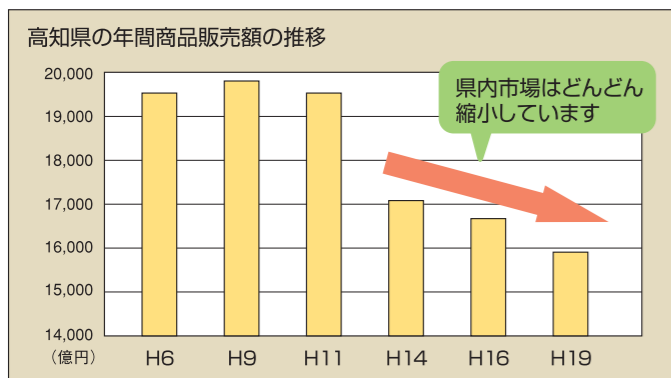
② 地産外商の推進

- ◆高知の強みを磨き上げ、首都圏、近畿圏など、より大きな市場へ売り出していきます。

③ 海外への地産外商に挑戦

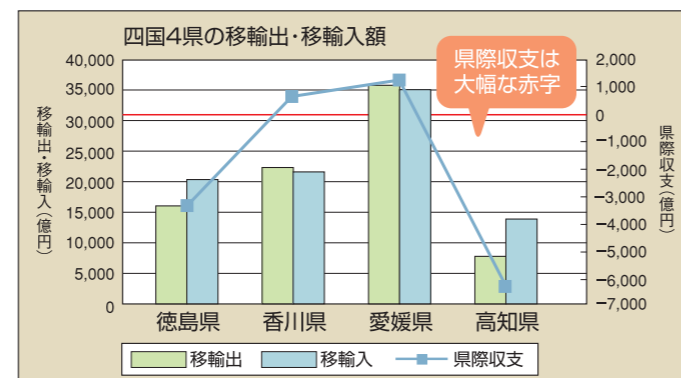
- ◆将来を見すえて輸出の振興を図るため、海外での販路開拓に意欲を持つ企業を積極的に支援します。

○県内の年間商品販売額は大きく減少



出典:平成19年商業統計調査(確報)

○県内市場は県外資本に食い込まれている状況



※県際収支・・・県の内外の取引の収支
出典:産業連関表(平成12年)

取り組み

これらを達成するために、生産から加工、流通、販売にいたるまでの支援を行います。

■地域資源の洗い出し

- 限られた地域のみで流通しているものや、これまで活用されていなかった産品を官民で掘り起こし

■商品づくり・加工 ブラッシュアップ

- マーケットイン(消費者の目線での商品開発)の発想による売れるものづくりのため、アドバイザーやテスト販売の場を活用
- ものづくりの地産地消を進めるため、県内事業者間の交流、設備投資を支援

■販路開拓・販売拡大

<国内での展開>

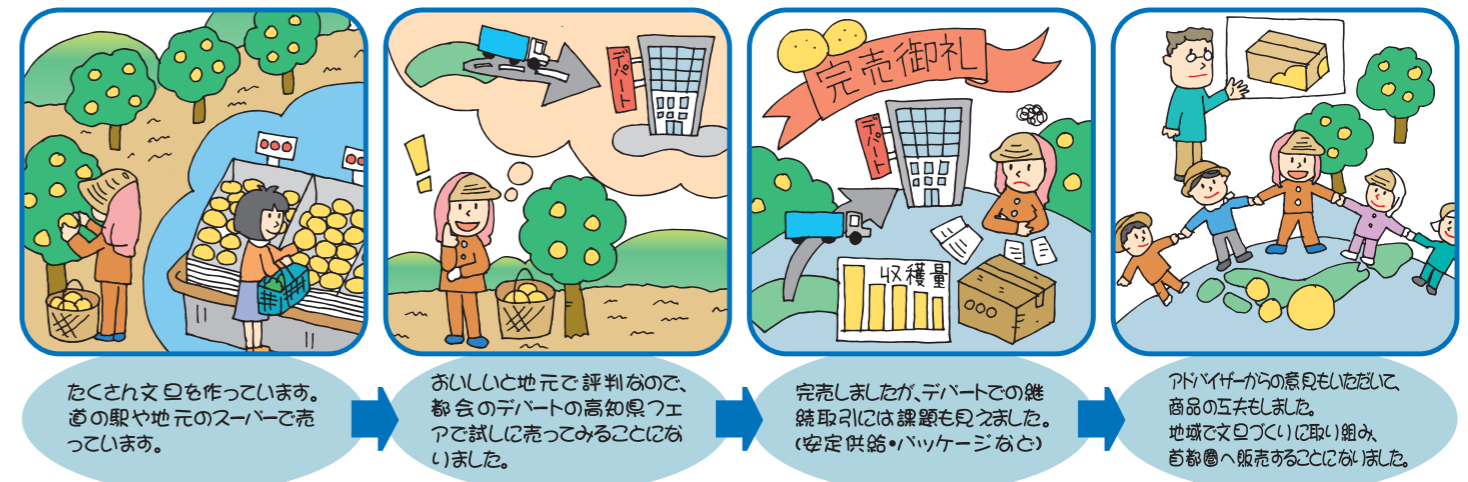
- 地域での様々な販売拠点の拡大・機能強化
- 首都圏におけるアンテナショップなど巨大マーケットでの新たなセールス拠点の構築
近畿圏における県産品販売ネットワークの一層の強化
- 高知の観光・物産をまるごと売り込むポータルサイトの構築

<海外での展開>

- 海外事務所の情報収集機能の強化
- 貿易の専門家や商社のもつ情報・ネットワークの活用による「強力なセールス活動」の推進
- これから海外での販路開拓を目指す県内企業を専門家がきめ細かく支援

くわしくは、
17・18ページを
ご覧ください。

[実行]のステップ



高知県経済が抱える 3つの課題に正面から取り組む

課題2

産業間の連携が弱い

- 魅力ある商品づくりを行うために必要な、加工等の取り組みがまだまだ不十分です。
- 第一次産業や観光産業の生み出す経済効果が他産業に十分に行き渡っていません。

基本方向

産業間連携の強化

全国や海外との競争に打ち勝つため、農林水産業と加工業など産業どうしの結びつきを強め、より価値の高い、魅力あるものづくりを進めます。また、多くの産業がうるおう観光も積極的に進めます。

目指す方向

①産業間の連携による高付加価値化の推進

◆産業間で連携して一次産品を加工するなどといった取り組みを行うことにより、首都圏・近畿圏などの巨大マーケットでも通用するように商品の魅力アップを図り、また、本県の不利な条件(大規模市場から遠く物流コストがかかる等)を補っていきます。

②特に産業間連携を進める2つの柱

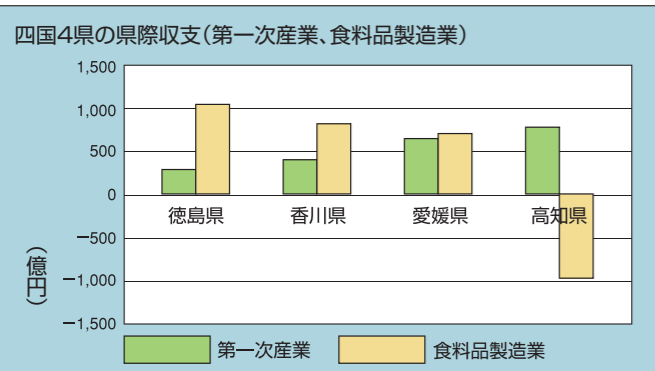
ア 第一次産業の強みを生かした食品加工の推進

◆農商工連携により、食品加工分野を伸ばす取り組みを進めます。

イ すそ野の広い観光産業の戦略的展開

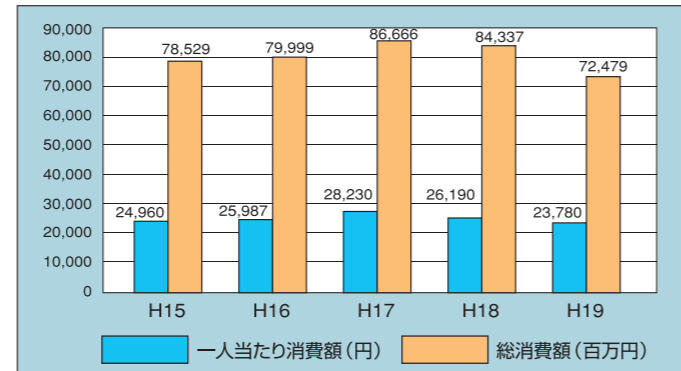
◆滞在型・体験型観光を戦略的に展開して、400万人観光の実現、1,000億円産業への飛躍を目指します。

○強みのある第一次産業と他産業とのつながりが弱い



出典:産業連関表(平成12年)

○伸びない観光消費額



出典:高知県観光客動態調査

取り組み

■産業技術人材の育成

- 工業技術センター等において研修・技術指導の機会を設け、ものづくりを技術面、人材育成面から支援

■食品加工の推進

- ①地産地消・地産外商に向けて、原材料集めから流通、販売まで一貫した支援
 - 地域アクションプランで47件の取り組み(シイラ、ウルメ、新高ナシ、土佐文旦の加工など)
- ②設備投資を支援

総合補助金の創設
食品加工推進室の設置
農商工連携ファンドの活用
衛生管理の高度化研修
地域資源を活用する食品工業の集積
成長分野の育成支援など

■観光の推進

- ①滞在型・体験型観光の推進
 - 「花・人・土佐であい博」の取り組みをステップアップさせ、さらにはそれらを広域でつなぎ、観光商品としての魅力を高める
 - 地域の特色ある土産物づくりを進め、観光消費額の拡大を目指す
 - 地域アクションプランで29件の取り組み(ニューツーリズム、観光への地域産品の活用)

②二次交通の整備

- 点在する観光スポットを結びつけ、魅力ある周遊ルートをつくりあげる

空港や鉄道の駅などから
観光目的地までの交通

龍馬伝ゆかりの地
めぐりも...

③土佐・龍馬であい博

- 「龍馬伝」の放送をとらえて観光ビッグバンへつなげる

観光周遊バス
観光ガイドタクシー



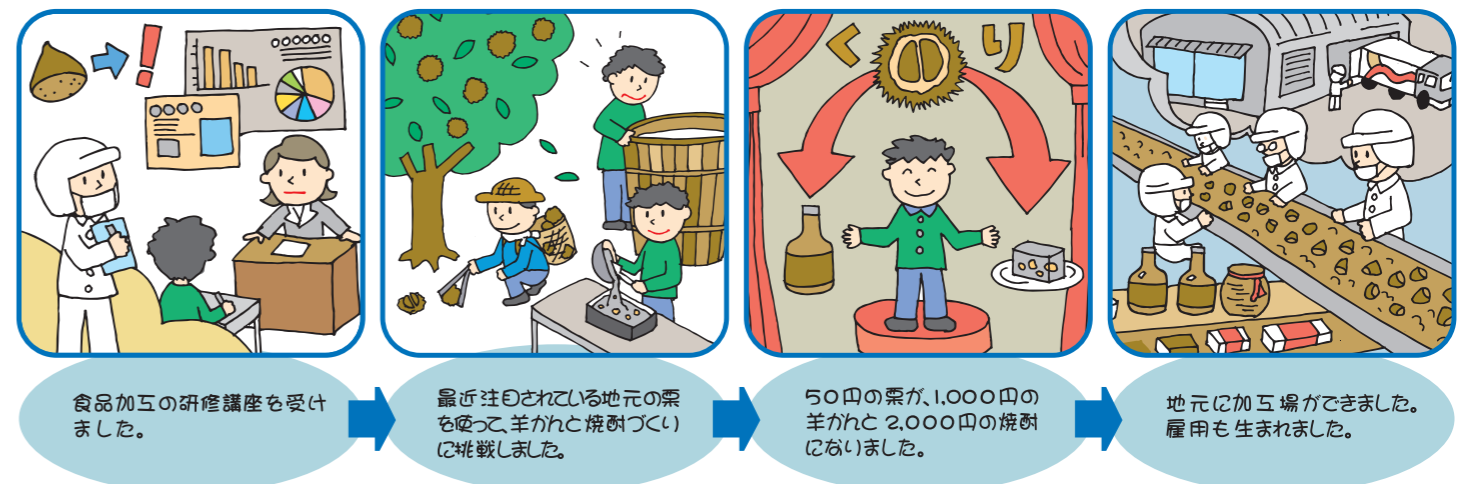
(土佐・龍馬であい博 メイン会場パビリオン)

くわしくは、
19ページを
ご覧ください。

くわしくは、
18ページを
ご覧ください。

くわしくは、
20ページを
ご覧ください。

[実行]のステップ



高知県経済が抱える 3つの課題に正面から取り組む

課題3

第一次産業の強みが強みでなくなりつつある

- 農業などの全国的に見て比較的に優位にある分野でも、ここ10年で就業者数が約2割減少するなど、担い手が不足はじめています。
- このままでは、本県の強みが強みでなくなってしまいます。

基本方向

足腰を強め、新分野へ挑戦

農林水産業の生産地の力を強め、担い手を増やします。あわせて中山間地域のビジネスや、新たな強みとなる産業を創りだします。

目指す方向

①生産地の足腰の強化と担い手の育成

- ◆強みのある第一次産業の維持・強化のために県内の生産地で生産者の結びつきを強め、力をあわせて競争力をつけていきます。
- ◆県内の若者や県外から高知へ帰って来たい人などに、第一次産業の新たな担い手として、スムーズに引き継いでいけるように、きめ細かくサポートします。

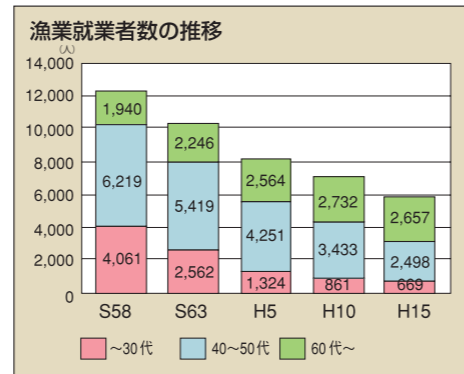
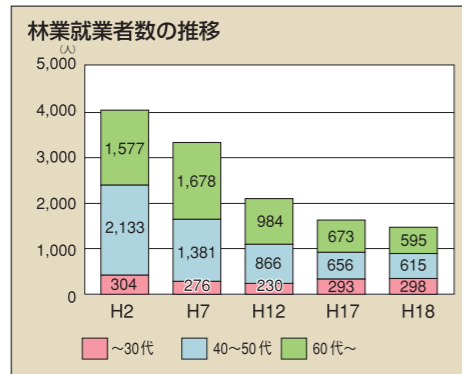
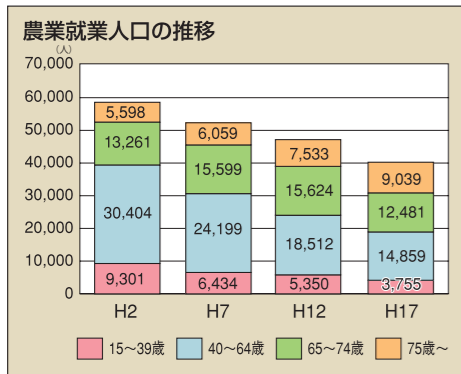
②中山間地域の産業づくり ～地域アクションプランの新たな取り組みの創出～

- ◆いろいろな種類の小さなビジネスや産業につなげることで、所得を安定させて安心して中山間地域で暮らせるようにします。

③新産業の創出

- ◆成長性が見込める分野で、ものづくりの技術と素材の良さを生かして、全国にも通用する産業を新しく創っていきます。

○第一次産業の生産地であっても、担い手が不足



取り組み

■第一次産業の生産地の強化

- 学び教えあう仕組みづくり
- 「森の工場」による効率的な生産システムの構築
- 「土佐の魚」の付加価値向上を支援

■担い手の育成・確保

- 新規就業促進への支援
 - ・移住コンシェルジュ(総合案内人)がワンストップで県外からの移住を促進
 - ・研修、住居、生産手段の確保をパッケージ化した就業支援
 - ・受け皿となるJA出資型法人の設立をサポート

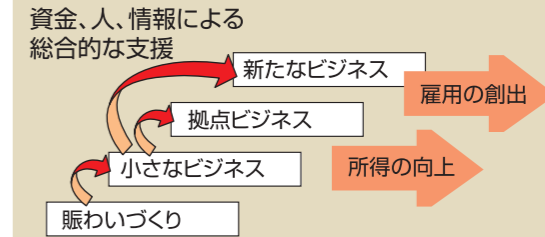
クラインガルテン
(滞在型市民農園)

くわしくは、
21ページを
ご覧ください。

■ステップアップを目指したビジネス支援

- 地域資源を生かした小規模ビジネスから新事業展開、新分野進出ビジネスへの総合的な支援

生産から販売まで、
それぞれの段階で
地域のニーズに応じた
アドバイザーの活用

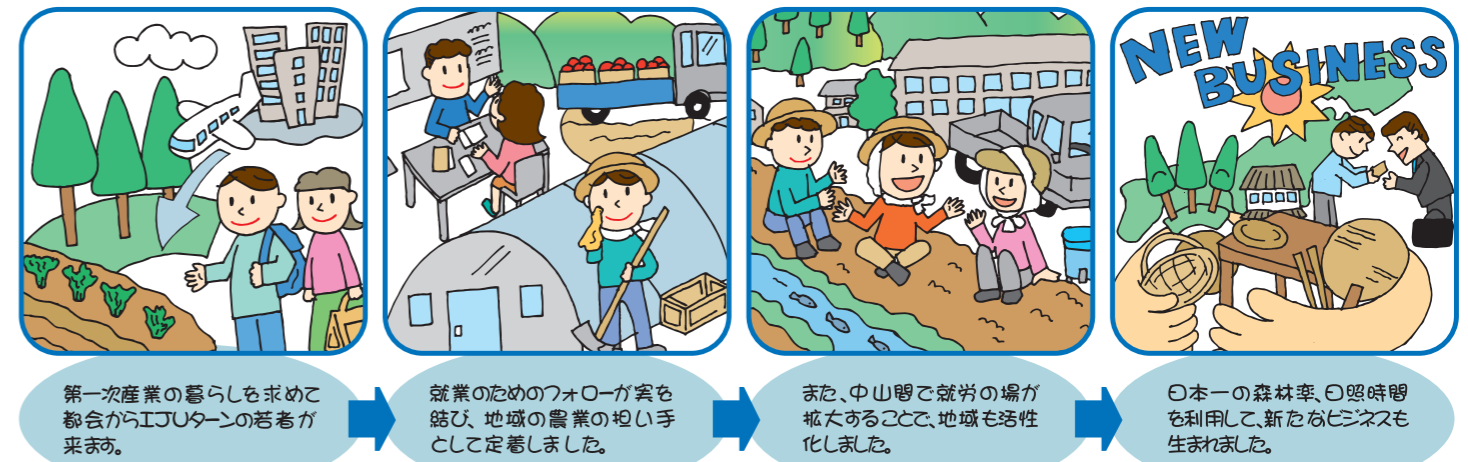


■成長が期待できる新たな分野の育成

- 成長が期待できる環境・健康福祉・食品・天然素材といったテーマについて、官民協働で研究会を設置し、新たな産業分野を育成
- まんがなどを活用した新しい産業づくり
 - ・ビジネスマッチングにつながるデータベースの作成
 - ・見本市の開催
 - ・クリエイターの育成 など

くわしくは、
22ページを
ご覧ください。

【実行】のステップ



産業分野の成長戦略（主なもの）

～産業ごとに改革の方向性を具体化～

全311施策

共通事項

1 地産地消・地産外商の推進

2 産業間連携の強化
・食品加工の推進
・観光の戦略的展開 等

3 人材育成・担い手確保



農業

〈主な例〉

- 生産から流通・販売までの一元的支援体制の構築
・新たな販路開拓と有利販売のための流通支援体制の整備【量販店とのパートナーシップの構築】
- まとまりのある園芸産地の再構築
・園芸戦略推進会議における戦略の共有と実践【農業者・農協の地域でのまとまりの支援】
・篤農家の優れた生産技術を学び・教えあう場の仕組みづくり
・レンタルハウス整備事業の充実【補助限度額等の見直し、中古ハウスの有効活用】
- 環境保全型農業のトップランナーの地位を確立
・環境保全型農業 技術の開発と普及【IPM技術の開発・普及】
・安全・安心の確保【地域や品目に応じた高知県版GAPの普及】
- 生活できる所得を確保するうち型集落営農の実現
・中山間地域において農業で生活できる所得を確保する仕組みづくりを推進【モデル集落の成功事例を各市町村に拡大】
- 品目別総合戦略の実践
・生産から流通・販売までを見通した品目別総合戦略の共有と実践【35品目（園芸28、米、茶、畜産5）】
- 担い手の育成と生産資源の保全
・認定農業者の育成・確保【新規認定者の確保と認定農業者へのフォローアップ】
・新規就農者の確保・育成【実践研修や遊休ハウスの活用、異業種からの参入の支援、JA出資型法人の設立】
・農業農村整備の推進【農地・水・環境保全向上対策の推進】
- 新たな取組による農業・農村の支援
・食品加工の推進【トータルな支援体制の構築、パッケージ事業の実施】
・「高知の食」を活用した取組の拡大【直販所の機能強化、食育（学校給食）による地産地消の拡大】
・グリーン・ツーリズムの推進【集落をまるごと情報発信】

林業

〈主な例〉

- 林業・木材産業の再生
・「森の工場」の整備【効率的な作業システムの導入（作業道の開設、高性能林業機械の導入）】
・担い手の育成【新規就業者・自伐林家等の支援】
・製品の品質の向上【JAS制度の普及、乾燥機等の機器の導入促進】
・製材工場等の体制の整備【既存工場の共同化・協業化、大型加工場の誘致】
・製品の流通体制の整備【製品市場の統合と共同受注・仕上げ・輸配送体制の整備】
・販売力の強化【官民協働の販売促進活動の推進、ブランド戦略の実施】
- 木質バイオマスの利用の拡大
・未利用資源の有効活用【林地残材の収集・運搬コスト低減に向けた支援、木質バイオマス 利用施設の整備支援】
- 森のものの活用
・森の資源の活用【特産林産物の共同集荷の仕組みづくりや販売ルートづくり】
・都市との交流の促進【エコツーリズムなど魅力あるメニューづくりの支援】
- 健全な森づくり
・荒廃森林の解消【間伐の積極的な推進、管理代行 など新たな仕組みづくり】

水産業

〈主な例〉

- 生産物（鮮魚）の売上高を伸ばすための戦略
・生産物の量の確保、質の向上及び市場競争性の導入を通じた産地入札価格の向上
【黒潮牧場の整備、藻場の回復、新規就業者への支援、産地市場の拠点化・オープン化】
・県漁協による「土佐の魚」への付加価値向上【県漁協の流通販売事業に関する取組強化】
- 県漁協による漁業費用を削減するための戦略
・供給価格引下げの仕組改善【県漁協の経営合理化、県漁協のサービス改善と人材育成】
・個別経営体への指導【ハード面での構造改善への支援、養殖技術の向上】
- 水産加工の産業化に向けた戦略
・零細規模での加工による高付加価値化【商品開発から販売までの取組の総合的支援】
・前処理加工・冷凍保管事業の起業化
- 滞在型・体験型観光の誘客に向けた戦略
・滞在型・体験型観光機能づくり【漁村での受入環境の整備、受入体制の強化、情報発信・商品販売への支援】
- 中山間地域に賑わいを取り戻すための資源豊かな河川づくりに向けた戦略
・河川資源の増強【種苗放流や産卵場造成など人工的対策、自然再生産が可能な河川づくり】
・冬季における河川の利活用（アマゴ漁期の拡大）【規制解除のための調査と規則改正への準備】

商工業

〈主な例〉

- 地域経済を牽引する工業の活性化～外貨の獲得を目指して～
ものづくり企業の強化
・地場企業の競争力強化と産業集積の向上＜地場企業の振興＞
【テーマごとの研究会方式による企業支援、インターネット利用・県主催商談会の開催による販路拡大支援、機械・金属・食品加工企業等の技術人材の育成】
・地域の特性を生かした企業誘致の推進＜企業立地の促進＞
【地域固有の技術・資源を活用した企業誘致】
・研究開発成果の県内での事業化＜新たな産業の創出＞
【コンテンツ産業、健康福祉産業の事業化に向けた取組の推進】
- 地域経済に貢献する商業の活性化
・新たな発想での商店づくりや商店街の活性化
【魅力ある個店づくりに向けた経営改善指導、ネット市場への出店支援、アンテナショップや産直ショップの出店支援、観光との連携による地域商業の活性化支援】
- 産業人材の育成と確保
・ミスマッチの解消による円滑な人材の確保【就職相談支援センター（ジョブカフェ）の機能充実、機械・金属・食品加工企業での人材育成】
- 建設業の新分野進出
・新分野進出による地域での働く場の確保【新分野進出の促進に向けた地域での支援体制を構築】

観光

〈主な例〉

- 効果的な観光PR、プロモーション活動の展開
・「龍馬伝」の放送を契機に全県的な観光振興につなげる「土佐・龍馬であい博」の開催
・県・観光コンベンション協会、市町村、観光施設等の情報共有の場づくり
- 県内の観光地を結ぶ交通手段の確保
・周遊バスの運行体系の強化
・観光ガイドタクシーを活用した周遊観光の推進
- 四国4県での受入体制の整備、PR活動の展開
・四国観光立県推進協議会の体制の強化
・首都圏でのPR・プロモーション活動、旅行エージェント等と連携したキャンペーン事業
- 地域の自然・歴史・文化などを生かした県民参加による体験型観光資源の発掘と磨き上げの推進
・「龍馬伝」の放送を契機に全県的な観光振興につなげる「土佐・龍馬であい博」の開催（再掲）
・広域観光周遊ルートづくりや地域産物を活用した魅力づくり
・四万十・足摺エリア（幡多地域）観光圏での事業展開への支援
- 観光振興に寄与する人材の育成と活用
・地域で観光をテーマに活動している人材のネットワークの場の設置
・観光ガイドのスキルアップのための研修の開催と有料ガイドへの移行
- 地域コーディネーター組織の整備
・広域での周遊ルートづくりや情報発信などワンストップサービスを担う地域コーディネーター組織の立ち上げの支援
- 国際観光の推進
・国際観光推進会議（仮称）を設置し、官民一体となった国際観光推進のための意識の醸成と戦略の策定・推進
- 産業間連携による新たな可能性への挑戦
・ニューツーリズムの推進 及び地域産物の活用
【体験ツーリズムの拠点となる農林漁家民宿等の充実、地域産物をメニューに組み入れる取組を支援】

地域アクションプラン 全221事業

一つひとつの取り組みが実を結び、しっかりとビジネスとして育ち、地域の中でつながることで地域の基幹産業として育っていくよう、支援していきます。



高幡地域 アクションプラン 38件

- 地消地産推進プロジェクト
- 木質バイオマスの推進
- 「かつお」まるごと商品開発プロジェクト
- シイラを柱とした水産加工業の創設
- 「須崎市まち全域がサービスエリア構想」の推進
- 拠点ビジネスの推進 など

仁淀川地域 アクションプラン 35件

- 仁淀川流域茶のブランド化等
- 薬用作物の産地拡大による所得の向上
- 力強い高糖度トマト産地の確立
- うるめのブランド化
- 「土佐和紙」の販売促進
- 体験型観光・食観光の推進
- 仁淀川流域ジオパークへの取り組み など

嶺北地域 アクションプラン 18件

- 米粉を活用したビジネスの展開
- れいほくブランドの園芸産地の確立とユズの加工拠点づくり
- 土佐はちきん地鶏の生産拡大
- 大型製材工場の誘致による地域材利用促進
- 「れいほくスケルトン」の販売促進 など

物部川地域 アクションプラン 22件

- 生産者と消費者をつなぐ場づくり（農家レストラン）
- 大学生による地域応援団づくり
- 農産物加工等への取り組み計画
- シイラの加工商材活用
- 「ごめん」をブランド化
- 土佐打刃物、フラフの振興 など

幡多地域 アクションプラン 37件

- 果樹(ブタン・ユズ)の産地づくり
- 直七(なおしち)の搾汁・商品加工 ※直七は柑橘類の一種
- 四万十川の資源を生かした環境ビジネスの創出
- 「黒潮印」の商品開発
- しみずの元気再生事業
- 拠点ビジネスの推進(大月町まるごと販売事業)
- 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進 など

高知市地域 アクションプラン 37件

- 鏡川源流域での有機・無農薬等ECO農業と薬草の里づくり
- 竹バイオマスの有効活用
- 土佐のものづくり企業における地産外商の推進
- コンテンツビジネスの創出
- 中心商店街でのアンテナショップの開設
- 「よさこい」を通じた観光客の誘致と「よさこい」ブランドの確立
- 食による観光の推進と地域物産との連携 など

安芸地域 アクションプラン 34件

- まとまりのあるナスの産地づくり
- ユズを中心とした中山間地域の農業振興
- 上土佐(かみとさ)備長炭販売促進事業
- キンメダイのブランド化に向けた取り組み
- 海洋深層水の利用拡大
- 地質資源を生かした交流人口拡大(世界ジオパーク認証に向けた取り組み)
- 龍馬伝を生かした観光振興 など

参 考

地産地消・地産外商の取り組み

地域資源の洗い出し

【地域資源の強みを知る、活かす】

県内各地域にある資源の情報の共有	地域資源活用共有会議	地域資源や地場産品の情報共有、商品化の協議
	地産外商推進協議会	県外市場の売れ筋などのトレンド情報、県内の生産者の情報、加工技術を有する生産者の情報など、商品化を行おうとする民間事業者の方を支援
	企業研究会	食品・天然素材等をテーマとする研究会を企業等で組織し、事業化プランを策定

商品づくり・加工 ブラッシュアップ

【付加価値を生み出す】

①地産地消でものづくり	付加価値を県内で生み出す仕組みづくりを進めます。 ・製造業の受発注ポータルサイトの活用による加工業者のマッチング ・県内の加工業者の技術、設備の情報収集と提供 ・前処理加工施設等の整備に対する支援
②マーケットインの商品づくり	消費者のニーズにあった商品開発を支援します。 ・外部の専門家を活用した品質、パッケージ、ネーミングなどのブラッシュアップ ・アンテナショップ、eコマース等を活用したテストマーケティングの場の提供 ・県工業技術センターを中心とした技術人材の育成、事業者へアドバイザーを派遣し、技術面から支援

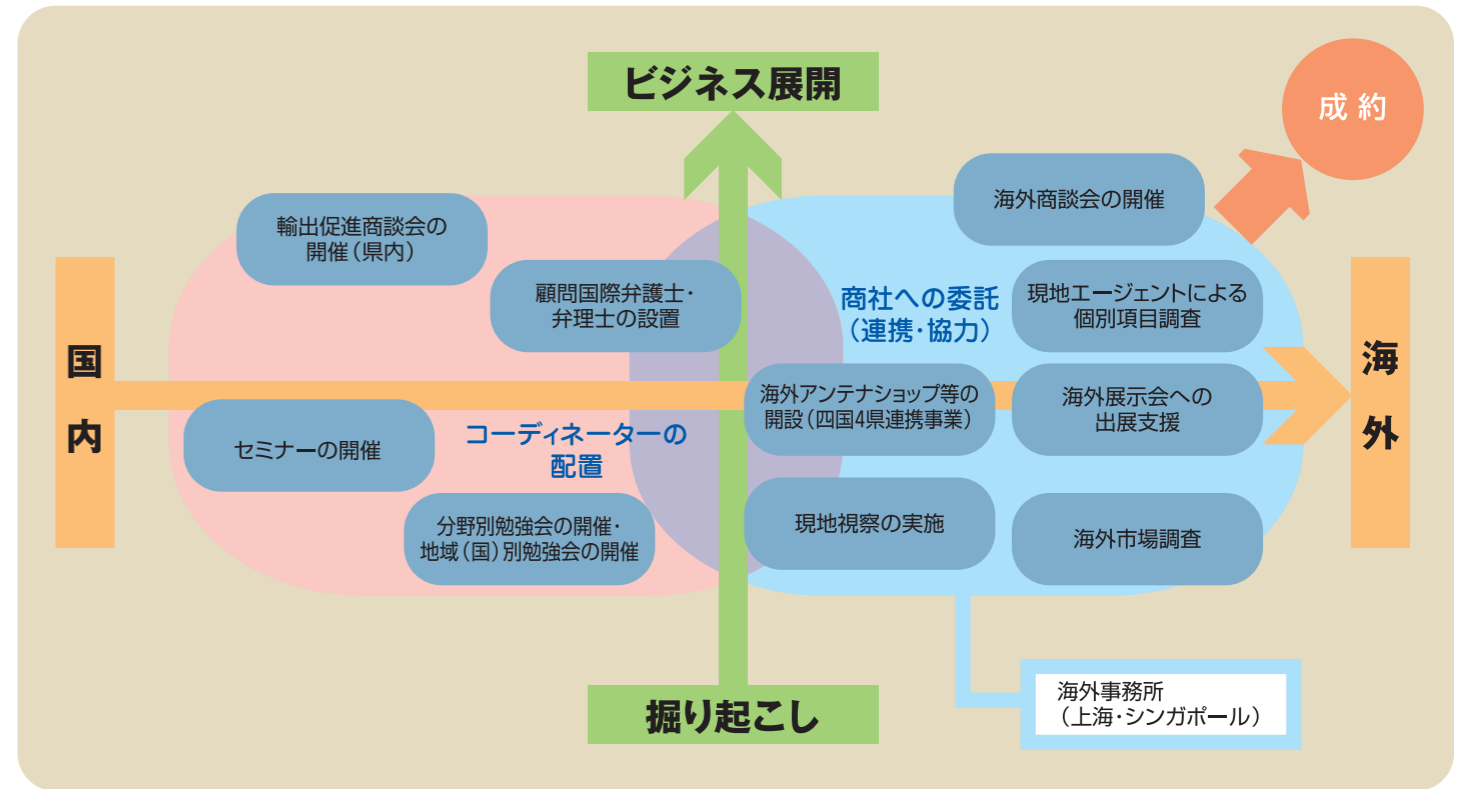
販路開拓・販売拡大

地産地消	①直販所を販売面・情報面での地域拠点とする	おいしい風土こうちサポーター
	②大消費地・高知市でのアンテナショップの設置支援	
	③量販店での地域産品の売り場の確保	
	④ものづくりの地産地消に向けての異業種間のマッチングの支援	
地産外商	①新たなセールス拠点の構築 首都圏アンテナショップの設置	お弁当屋さんやレストランチェーンなど
	②ポータルサイト等の活用	・ポータルサイトの開設、研修や大手eコマースサイトとの連携による県内事業者のeコマース参入支援 ・ポータルサイト、広報紙、アンテナショップが連動したマスコミや高知ファンへの情報発信
	③企業の販売力の強化	・県及び新設組織による営業活動の支援 ・見本市、商談会への出展機会の提供と出展効果を高めるセミナーの実施

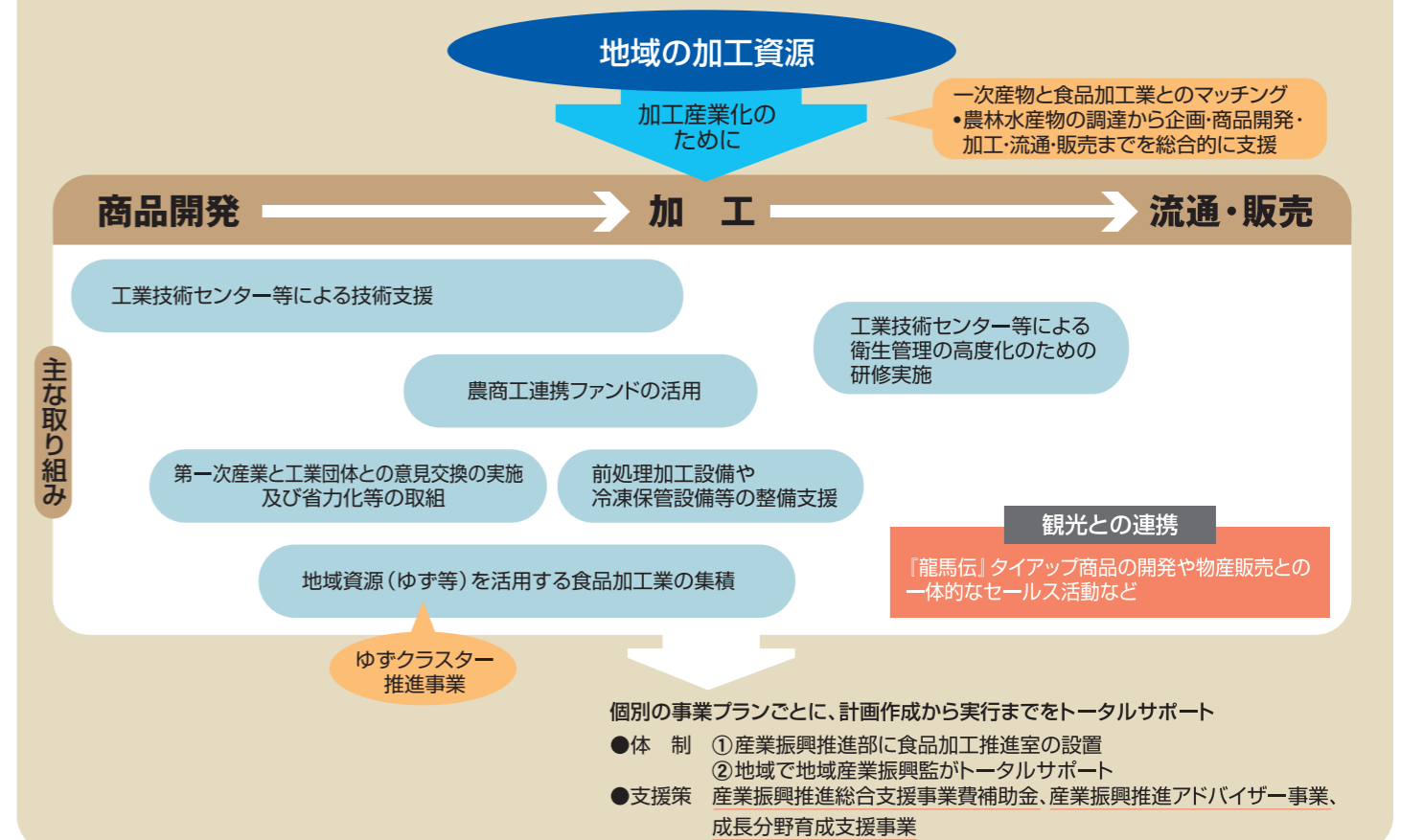
海外展開の推進に向けた支援策

- ◇輸出促進支援事業(5,300万円)
- ◇海外市場販路拡大事業(1,300万円)
- ◇海外経済活動事業(1,100万円)

ポイント 分野別・国別勉強会 → 国内でのビジネスマッチング → 海外でのビジネスマッチング

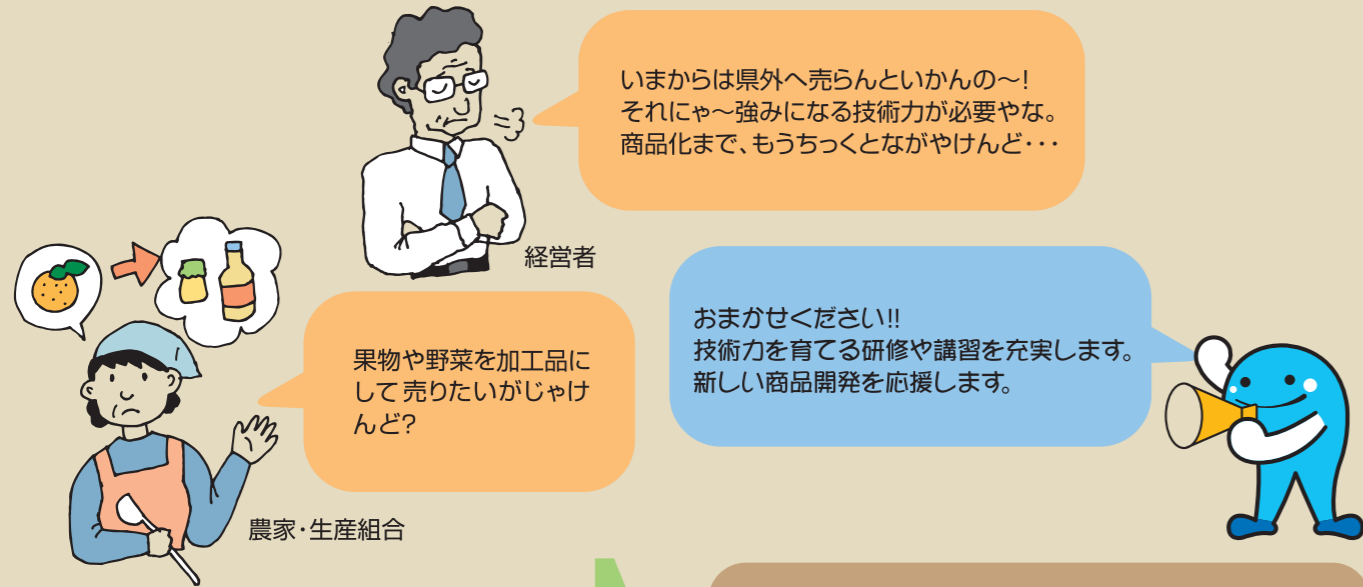


産業間連携（食品加工）の推進フローと支援の枠組み



産業技術人材の育成

産業を振興するため、企業の「技術人材」の育成や、商品開発を支援するとともに、地域の方々が食品加工を行うお手伝いをします。
 そのために、工業技術センターを始めとする県の試験研究機関が、外部の専門家も活用して全力で支援します。



●産業技術人材育成事業

製造技術や品質管理の研修により、産業の担い手となる製造技術者を育成します。
 研修14コース

●食品加工特別技術支援員

外部人材を登用し、研修、技術相談、商品開発の支援を進めます。

●技術指導アドバイザーによる企業活動支援事業

食品加工、機械、金属加工などの専門分野の技術指導アドバイザーを企業へ派遣し、企業技術者の育成、企業の技術力の強化、新製品(商品)の開発を促進します。

- 人材育成研修の充実
 平成20年度 9コース
 → 平成21年度 14コース 400名
 ・地域食品加工者育成のための技術支援
 ・電子機器ノイズ対策技術研修
 ・熱処理研修会 等

- 食品加工、機械・金属加工分野等の技術相談、巡回指導の強化

- 食品加工特別技術支援員による支援強化
 ・商品の開発支援
 ・食品加工に関する技術研修
 ・食品加工に関する技術相談

- 特定の課題に対して集中的に支援
- 企業技術者の育成により、企業の技術力の強化を図る
- 新製品(商品)の開発を促進

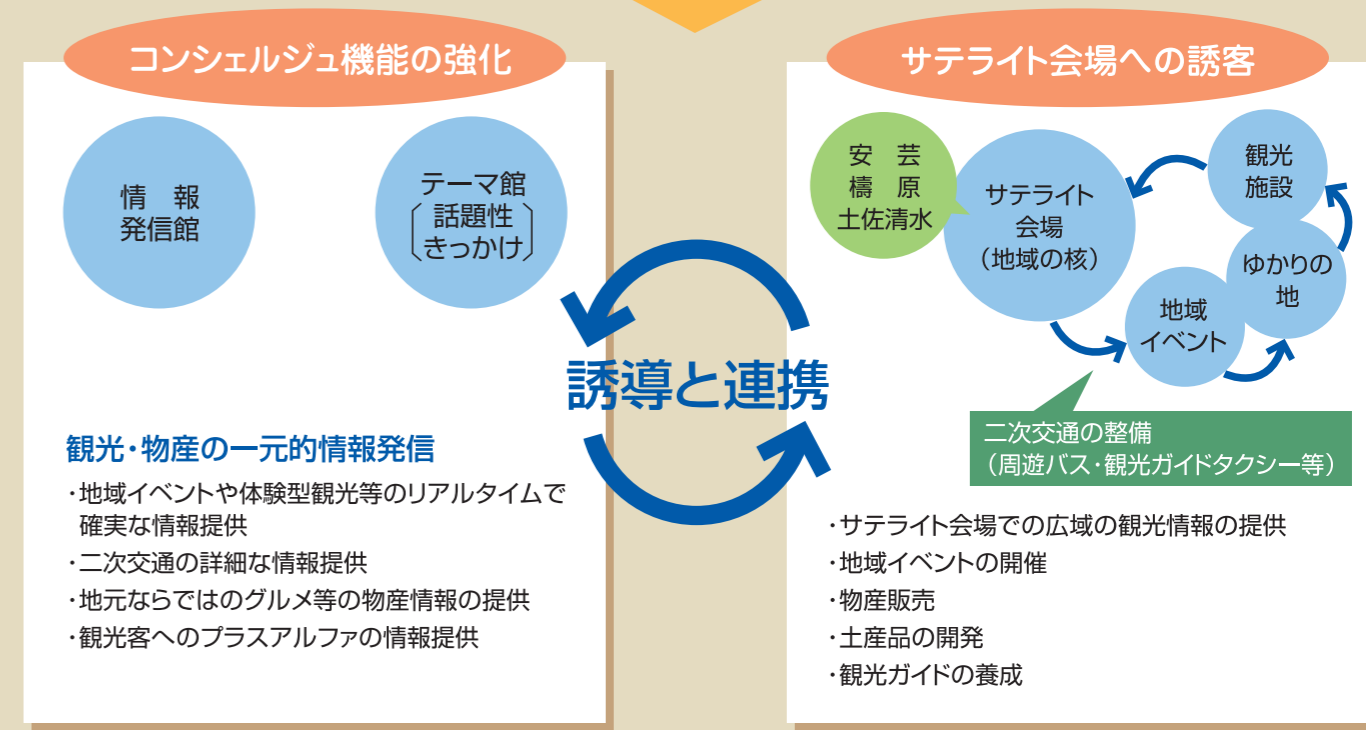


平成20年度 事業費1,757千円

平成21年度 事業費18,046千円

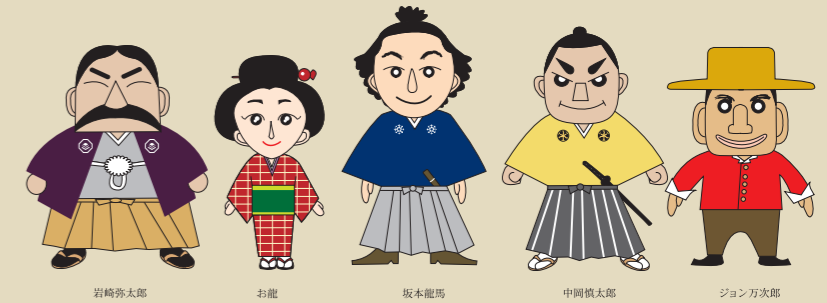
土佐・龍馬であい博の取り組み～『龍馬伝』の放送をつなげる取り組み～

全国への情報発信
 テレビ等マスメディアを活用した首都圏などの新規市場へのPR



『土佐・龍馬であい博』終了後も
 情報発信機能を継続

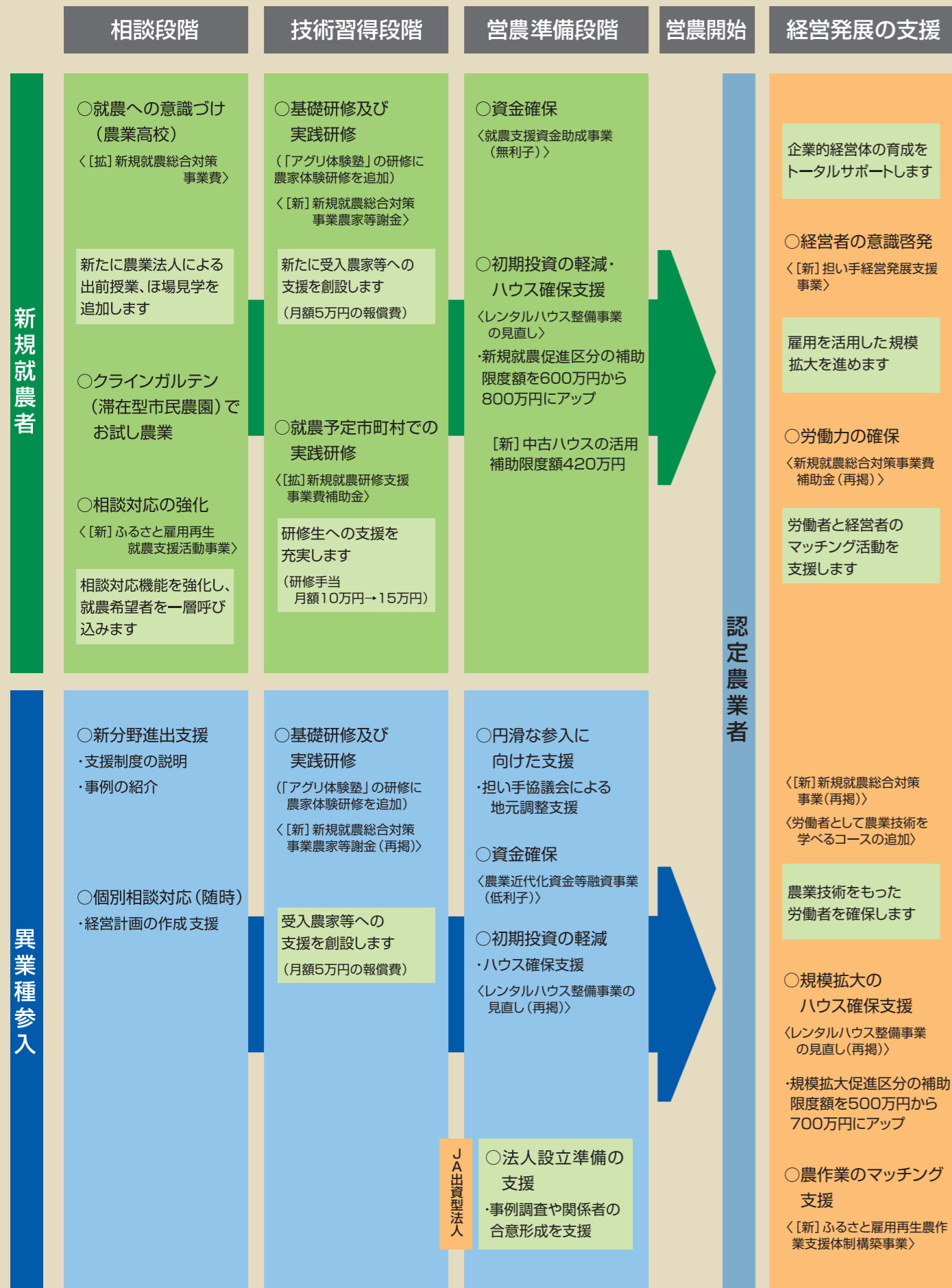
滞在時間の延長! リピーターの増加!
 「クチコミ」による高知の
 イメージアップ



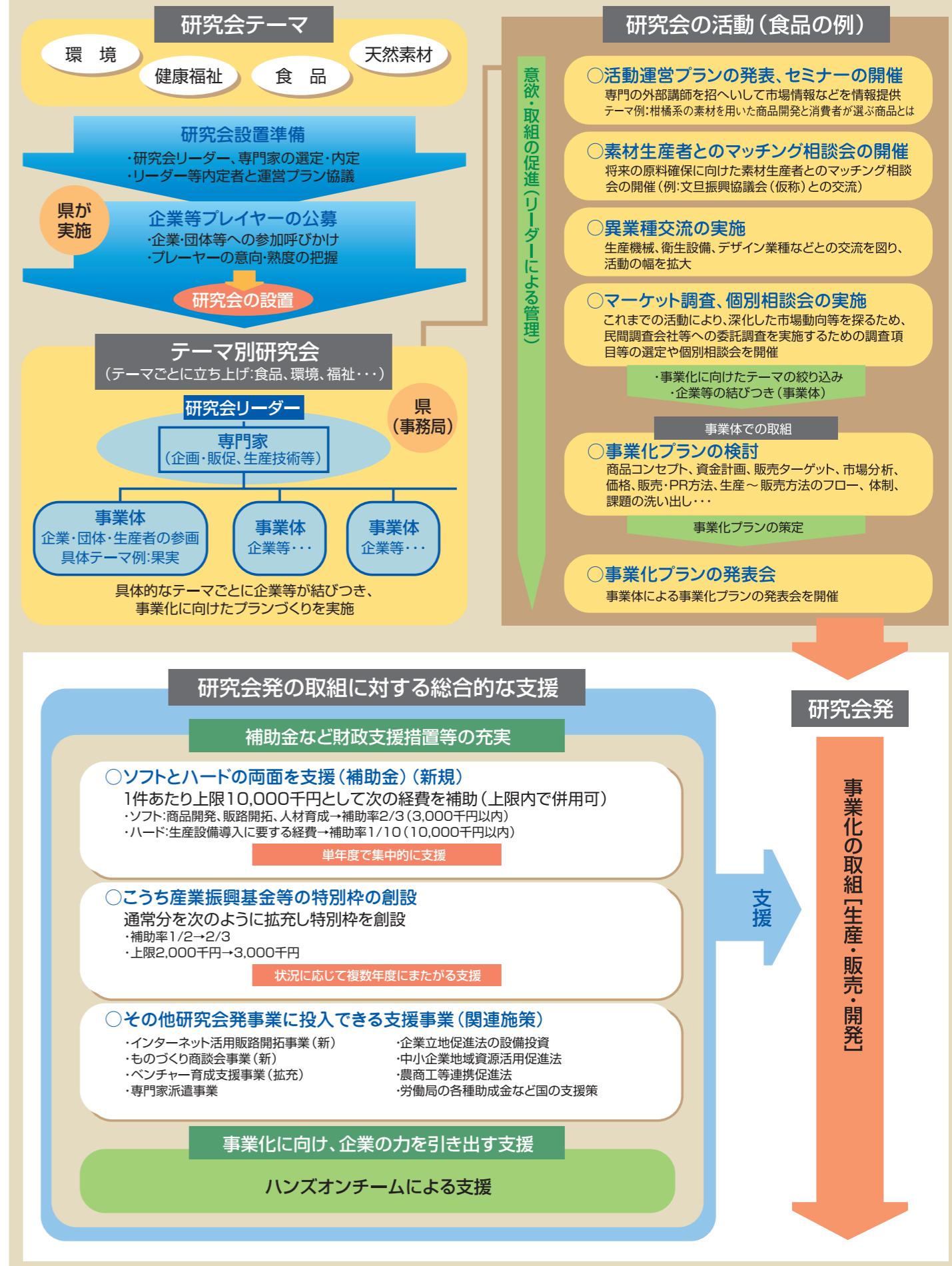
県全域のにぎわい・活力向上



担い手の育成・確保（農業の例）



テーマごとの研究会方式による企業支援の仕組み



アイデアを形にしましょう。 県内7ブロックにある地域本部がワンストップで支援します！

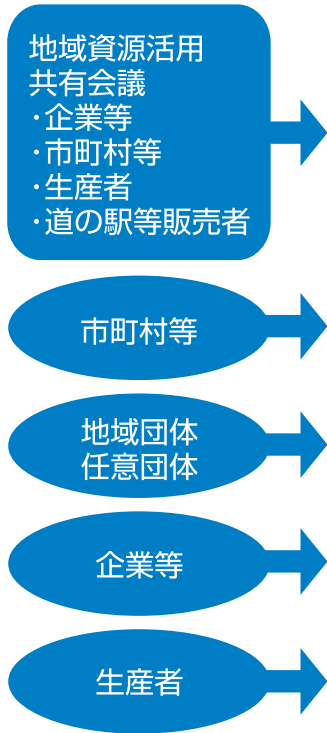
地域の産業に関することなら
何でもどうぞ！



案内所
INFORMATION

これらの事業で
サポートします

支援体制



ワンストップ支援窓口

産業振興推進
地域本部

地域産業振興監

地域支援企画員

出先機関
(農・林・水)

本庁関係課
(商工・観光)

取組内容の検討、
熟度を高める支援

地域アクションプランの
取り組みについては、
実行支援チームで
サポート

産業振興推進総合支援事業補助金（総合補助金）

- ・補助対象事業：ハード・ソフトとも対象（企業のハード事業も対象）
- ・補助率：原則1/2以内（地域への経済波及効果の高い事業は2/3以内）。国や県の他の事業への継ぎ足し補助の実施
- ・補助限度額：5,000万円
- ・予算額：10億円

産業振興推進アドバイザー事業

- 商品企画や販売などに関する専門的な助言、事業内容の審査、観光・物産の情報発信を行うアドバイザーの設置
- ・予算額：3,500万円

商品づくりから
販売までトータルに支援

成長分野育成支援事業

- 食品加工等をテーマに企業や専門家等で構成する研究会を設置し、事業化への取り組みを重点的に支援
- ・予算額：1億900万円

産業技術人材育成事業

- 製造技術や品質管理の研修により、産業の担い手となる製造技術者を育成します。

技術指導アドバイザーによる企業活動支援事業

- 各専門分野の技術指導アドバイザーを企業へ派遣し、技術者の育成や技術力の強化、新商品の開発等を支援していきます。

その他各分野の支援事業

お近くの窓口にお気軽に
ご相談ください

安芸地域本部	安芸市矢ノ丸1-4-36 安芸総合庁舎2F	TEL0887-34-1270 FAX0887-34-1271
物部川地域本部	香美市土佐山田町加茂777 香美農林合同庁舎1F	TEL0887-57-0015 FAX0887-57-0016
高知市地域本部	高知市丸ノ内1丁目2-20 高知県庁産業振興推進部内	TEL088-823-9918 FAX088-823-9255
嶺北地域本部	長岡郡本山町本山946-6 中央東土木事務所本山事務所1F	TEL0887-70-1015 FAX0887-70-1016
仁淀川地域本部	土佐市高岡町乙3229 土佐合同庁舎1F	TEL088-852-7256 FAX088-852-7257
高幡地域本部	須崎市西古市町1-24 須崎総合庁舎3F	TEL0889-40-0205 FAX0889-40-0206
幡多地域本部	四万十市中村山手通19 幡多総合庁舎3F	TEL0880-35-8616 FAX0880-35-8617

みんなが主役 高知の元気発進プロジェクト

～変わろう・変えよう・産業と暮らし～

高知県産業振興計画PR版
平成21年6月発行

高知県産業振興推進部

〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2-20

計画推進課

TEL (088) 823-9333
FAX (088) 823-9255
E-mail/120801@ken.pref.kochi.lg.jp

地産地消・外商課

TEL (088) 823-9753
FAX (088) 823-9262
E-mail/120901@ken.pref.kochi.lg.jp

地域づくり支援課

TEL (088) 823-9602
FAX (088) 823-9258
E-mail/120301@ken.pref.kochi.lg.jp